

2021年7月1日  
日本生命保険相互会社

ソーシャル・インパクト・ボンドへの投資について  
～アジア最大のソーシャル・インパクト・ボンド・ファンドへの投資を通じた  
持続可能な社会実現への貢献～

日本生命保険相互会社（社長：清水博、以下「当社」）は、株式会社ドリームインキュベータ（社長：三宅孝之、以下「DI社」）が設立したNext Rise ソーシャル・インパクト・ファンド（以下「当ファンド」）へ6億円の投資を行うこととなりました\*1。

ソーシャル・インパクト・ボンド（以下、「SIB」）は、事業の民間委託等により、行政コストを抑えながら社会課題の解決を図り、あらかじめ設定した事業の成果指標の達成度合いに応じて行政から対価が支払われる成果連動型支払契約方式による事業（PFS事業：Pay for Success 事業）の一形態であり、民間事業者が事業に必要な資金を外部から調達し、行政からの報酬で返済するものです。

近年、社会課題の複雑化により、行政が負担する社会保障費の歳出が増加傾向にある中、行政コストの削減と社会課題の解決の両立を目指す仕組みとして、SIBは欧米を中心に広がっていましたが、国内でも案件組成が徐々になされ始めております。

DI社は、さまざまな社会課題を戦略・技術・政策の力を有機的に統合して解決するビジネスプロデュース活動を推進しています。SIBの組成において重要となる自治体との連携においても、すでに複数の自治体と提携し、先進的な取り組みを推進しており、今回のアジア最大のSIBファンド組成における中心的な役割を担っています。

当社は、持続可能な社会の実現と運用収益確保の両立を目指し ESG 投融資を積極的に推進しておりますが、社会課題の解決に貢献するとともに、運用収益拡大にもつながる SIB への投資は今回が初めてであり、当社の ESG 投融資の今後の可能性を広げるものです。

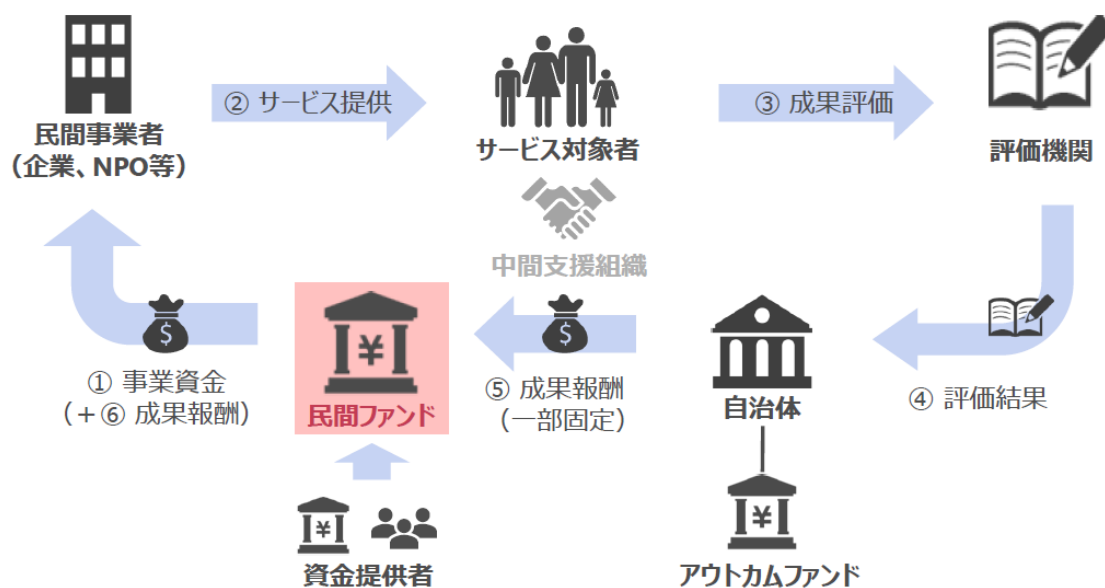
今後も持続可能な社会の実現への貢献と契約者利益の一層の拡大を目指し、ESG 投融資に取り組んでまいります。

\*1 当社はニッセイアセットマネジメント株式会社と投資一任契約を締結し、クレジット投資とオルタナティブ投資の機能を、ニッセイアセットマネジメント株式会社に移管しております。 <https://www.nissay.co.jp/news/2020/pdf/20210304a.pdf>

<当ファンドの概要>

1. 名称	Next Rise ソーシャル・インパクト・ファンド投資事業有限責任組合
2. 設立日	2021年7月1日
3. 当ファンドの総額	30億円
4. 出資者	株式会社ドリームインキュベータ 株式会社日本政策投資銀行 株式会社DI ソーシャルインパクトキャピタル 日本生命保険相互会社
5. 無限責任組合員の概要（運用者）	名 称：株式会社DI ソーシャルインパクトキャピタル 所 在 地：東京都千代田区霞が関3丁目2番6号 代 表 者：代表取締役 三宅 孝之 事業内容：投資事業組合財産の運用、管理 資 本 金：5,000万円
6. 当ファンドの存続期間	10年間
7. 組入対象	地方自治体の社会課題の解決に資する事業
8. 特徴	第三者の評価機関が検証した事業の成果に応じ、成果実現報酬を受領

(SIBの仕組み)



出所：DI 社

<日本生命保険相互会社の概要>

1. 名称	日本生命保険相互会社
2. 主な事業内容	生命保険業
3. 設立年月	1889年
4. 所在地	大阪府大阪市中央区
5. 代表者	代表取締役社長 清水 博

<DI社の概要>

1. 名称	株式会社ドリームインキュベータ
2. 主な事業内容	サービス業
3. 設立年月	2000年
4. 所在地	東京都千代田区
5. 代表者	代表取締役社長 三宅 孝之

以上